

**貿易プラットフォーム「TradeWaltz®」によるベトナム向け商流の電子化実証が、
経済産業省の「海外サプライチェーン多元化等支援事業」に採択
～トレードワルツと、三菱商事プラスチック、三菱商事、三菱UFJ銀行、東京海上日動の
ユーザー4社が連携し、3月から実証開始～**

株式会社トレードワルツ
三菱商事プラスチック株式会社
三菱商事株式会社
株式会社三菱UFJ銀行
東京海上日動火災保険株式会社

貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz」を運営する株式会社トレードワルツ（以下：トレードワルツ）と、三菱商事プラスチック株式会社（以下：三菱商事プラスチック）、三菱商事株式会社（以下：三菱商事）、株式会社三菱UFJ銀行（以下：三菱UFJ銀行）、東京海上日動火災保険株式会社（以下：東京海上日動）の先行ユーザー4社（*1）は、互いに連携し、来年3月から三菱商事プラスチックと三菱商事のベトナム向け商流にて電子化実証を行うこと、また本件が経済産業省の令和二年度補正予算で措置された「海外サプライチェーン多元化等支援事業」（事務局：JETRO、以下：支援事業）に採択されたことを発表致します。

あらゆるモノの流れに付随する貿易業務には、未だオフィスや行政機関での紙書類の処理プロセスが存在するため、コロナ禍でも実務者の一部は週1-2回の出社が必要になるケースがあります。今後、仮に新型コロナウイルスの感染が再拡大する等し、出社ができない状況になった場合は貿易手続きが遅延し、サプライチェーンに影響を及ぼす可能性があります。そのため、フルリモートワークを阻害する要因（＝紙書類を電子化するニーズ）はコロナ禍に大きな高まりを見せており、政府もサプライチェーン強靱化（多元化+デジタル化）の文脈で対策を急いでいます。

貿易業務を一元的に電子データで管理する「TradeWaltz」は、今般、輸出系の標準書類の電子化実装を完了したため、3月よりそのうちの一部であるLC（*2）受領機能から、先行ユーザーとシステム間連携し、実商流を用いた実証を行います。現行の取引では、銀行が手形の買取りの前提として船積書類の内容がLCの記載と一致しているか否かの調査を行う等、煩雑且つ書面を使った作業があります。この実証は、それらを全てシステムで統合し、システム上でチェックできるような仕組みを目指しており、上記政府のサプライチェーン強靱化施策の目的とも合致したため、支援事業の採択を受けました。

「TradeWaltz」では現状、全ての海外国のLCを扱うことが可能ですが、支援事業においては、2020年のASEAN議長国であり、また、対日貿易額が約400億米ドルに上る等、ASEANでわが国にとって最も重要な貿易相手国の一つでもある、ベトナム社会主義共和国の企業との商流で実証することといたしました。今年8月、梶山経産大臣とASEAN議長国ベトナムのアン商工大臣との間で開催された「第4回日越産業・貿易・エネルギー協力委員会」にて共同閣僚声明（*3）もふまえ、この実証事業を推進していきます。

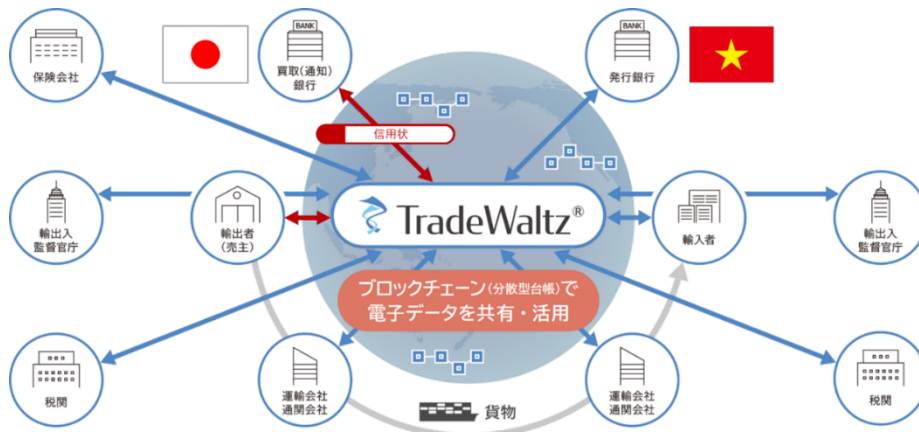


図 ベトナム実商流にて、まずは3月にLC受領機能を実証（赤矢印部分）

トレードワルツと先行ユーザー4社は、今回のベトナムでの実証に止まることなく、引き続き連携し、ASEAN 各国等の貿易業務の電子化にも貢献していきたいと考えています。

(*1) 三菱商事プラスチックや三菱商事のベトナム向け商流（主にプラスチック原料になる低密度ポリエチレンなどの商材を取り扱っています。現地でポリ袋や食品・日用品包装材などの最終製品となり、コロナ禍で需要が増しているスーパーやテイクアウトなどで活用されています。）を実証に使用するため、本商流に関係する先行ユーザー4社が参加することとなったものです。

(*2) LC：貿易決済を円滑にするため、銀行が発行する支払いを確約する書面です。日本語では「信用状」と呼ばれます。

(*3) 共同閣僚声明（一部内容を抜粋）：日ベトナム閣僚は、企業が貿易関連文書をデジタルで交換できる「貿易プラットフォーム」の構築を通じて貿易手続を効率化し、地域のサプライチェーンの更なる高度化に貢献するための民間の継続的な取組を認識した。

【関係者のコメント】

トレードワルツ 代表取締役社長 小島 裕久

「1st ユーザーとなっていただく三菱商事プラスチック様・三菱商事様の実商流をベースに、今回経産省の事業としてベトナムとの実証を進めてまいります。ASEAN そして RCEP の国々の皆様の貿易電子化、ならびにコロナのようなパンデミック下でのサプライチェーン強靱化に資するべく、今後さらに海外展開を進めてまいります。」

三菱商事プラスチック 代表取締役社長 楠木 礼彦

「トレードワルツ社様が行う実証に今回 1st ユーザーとして参加させて頂く事となり光栄です。弊社の貿易実務プロセスの競争力向上に止まらず、サプライチェーン各社様の効率化や、貿易産業全体の強靱化に繋がる事を期待し、1st ユーザーとして先端の貿易プラットフォーム構築のお手伝いをさせて頂きたいと考えております。」

三菱商事 デジタル戦略部長 平栗 拓也

「いよいよ3月より、弊社実ビジネスで TradeWaltz を利用開始する運びとなりました。その取組を支援頂く経産省様・JETRO 様に厚く御礼申し上げます。コロナ禍で日本のみならず世界で貿易実務者のリモートワークニーズが高まる中、TradeWaltz が解決の糸口となれるよう、まずは本実証から着実に実行してまいります。」

三菱 UFJ 銀行 トランザクションバンキング部長 村上 紀年

「コロナ禍であらゆる業種・業務でデジタル化が進展する中で、トレードについては TradeWaltz が本邦におけるその有力なソリューションであると確信しております。その第一歩となる実証に銀行の立場から参画し、その後の利用拡大も視野に入れて、第一号案件に取り組み、サービス高度化に努めて参ります。」

東京海上日動 海上業務部長 橋本 浩介

「実ビジネスでの利用開始は画期的な第一歩であり、三菱商事プラスチック様・三菱商事様はじめご一緒させていただき皆様とともに、世界の貿易業務のデジタル化の発展に貢献すべく引き続き取り組んでまいります。」

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社トレードワルツ Mail : info@tradewaltz.com

三菱商事プラスチック株式会社 Tel : 03-6267-2600

三菱商事株式会社 広報部 報道チーム Tel : 03-3210-2171

株式会社三菱UFJ銀行 広報部 Tel:03-5218-1814

東京海上日動火災保険株式会社 広報部広報グループ Tel : 03-5223-3212

【トレードワルツ 会社概要】

商号 : 株式会社トレードワルツ

代表者 : 代表取締役社長 小島 裕久

所在地 : 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目2番地2号 丸の内二重橋ビルディング2階

設立 : 2020年(令和2年)4月

事業内容 : ブロックチェーンを活用した貿易情報連携プラットフォーム「TradeWaltz^(注1)」のSaaS^(注2)提供

URL : <https://www.tradewaltz.com>

株主一覧 : 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ

三菱商事株式会社

豊田通商株式会社

東京海上日動火災保険株式会社

株式会社三菱UFJ銀行

兼松株式会社

損害保険ジャパン株式会社

(注1) 「TradeWaltz」は日本国内における株式会社エヌ・ティ・ティ・データの登録商標です。その他の商品名、会社名、団体名は、各社の商標または登録商標です。

(注2) Software as a Service の略で、ユーザーがインターネット経由に必要なソフトウェア機能を利用する仕組み

以上